

学校生活（R 6年度）

行事・部活など

土木系の特色ある体験的な学習

「校地内のアスファルト舗装改修工事（9月）」

本年度の「生徒自ら行う学習環境整備事業」として、土木系を選択する3年生8名が、本校管理棟裏側の通路についてアスファルト舗装の改修工事に取り組みました。

改修前は凸凹があり、雨天時には大きな水たまりができる状況でした。道路の整備は土木分野においても社会インフラを維持管理する主要な役割のひとつです。専門学習においても構造や施工について学ぶ対象となっています。今回の改修整備に際しても、一連の改修工事を実践的な学習の機会と捉え、事前の状況調査、地表面の地形の測定と確認、改修に必要なアスファルト材料の数量計算、実際の作業での工程管理および品質管理など、「建設実習Ⅱ」の授業展開のひとつとして行いました。

生徒たちも、土木分野の仕事が公共の場の環境改善に繋がる役目を担っているということを実感できた貴重な体験となりました。

